

# MyiD<sup>®</sup> : スマートフォンを利用した学生証革命

教育

防災

実施主体 : NSGカレッジリーグ / FSGカレッジリーグ (専修学校33校) および株式会社 J S S  
実施地域 : 新潟県 (上越・中越・下越)、福島県郡山市

## カード型の学生証がスマートフォンアプリになった ⇒ 学生証に付加価値創造!

### 取組の概要

#### 1. カード型の学生証を廃止して、スマートフォンのアプリにする

学生証のスマートフォンアプリ『MyiD<sup>®</sup> (マイディ)』を開発。



#### 2. 教育現場における円滑なコミュニケーション(通常時、災害時)

従来のカード型の学生証は、学生という身分を証明する役割しかありませんでした。しかし学生証をスマートフォンアプリにすることで、コミュニケーション機能や出席登録など学校生活で活用できる便利な機能を付加できます。

#### 3. 環境に優しいペーパーレス、BYODによるコスト削減

印刷、回収した学生証の廃棄が不要となり、環境負荷が減らせます。また学生のスマートフォンを活用することで、学校側の学生証の印刷、配付コストを減らせます。

カード型学生証

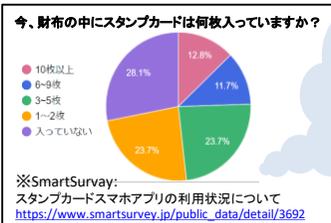
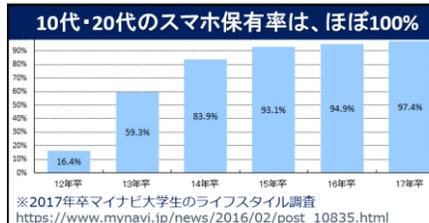
学生証アプリ

学生証アプリなら全て利用可能!

- Push通知
- 安否確認
- 出席
- 時間割
- 学生手帳
- QRコード

### 取組の背景

#### スマートフォンの普及



スマートフォンの**保有率と携行率**は高い。財布は他のカードでかさばっているため、学生証は必要な時以外持ち歩かない学生も多い。

#### 学校と学生間のコミュニケーションの課題と社会のニーズ

学校から学生へのコミュニケーションは一方通行になりやすく、学生がきちんと情報を確認しているのかが学校が迅速に把握することが困難でした。また、環境への配慮は社会で取り組むべき喫緊のミッションです。学生証をアプリにすることで、カードや掲示物の材料となる紙やプラスチックの消費を減らし、温暖化ガス排出防止になると考えました。

### 取組の成果

#### ●利用者のベネフィット

- ① 掲示板やWebサイト、Eメールに頼っていたコミュニケーションがインタラクティブに。
- ② 確実な安否確認の実施。 ※
- ③ 学生証、学生手帳等配布物の印刷コストを0に。

#### ●利用者の拡大が満足度を物語っています。

2018年4月 MyiD<sup>®</sup>リリース時点  
MyiD<sup>®</sup>利用法人数: 33 法人  
MyiD<sup>®</sup>利用ユーザー数: 8,000 人

2020年1月現在  
100 法人 (303%UP)  
41,000 人 (512%UP)  
MyiD<sup>®</sup>解約法人数: 0

#### ●事業の発展

- ・ 会員証、社員証へ応用しあらゆる身分証のアプリ化
- ・ アルムナイ(OBOG)の創出

※ 安否確認の応答結果  
台風19号(2019年10月発生)の際に発信された安否確認では、確認対象者の**応答率80%**を達成しました。幸いにも重軽傷者は無しという結果となっています。